

2006. 1. 21

# 潮干満データベースに

## 水上タクシー「雁木組」

広島市東区部の河川で雁木タクシーを運営する「雁木組」（西區）と、神業の活動支援などをする広島神楽芸術研究所（北広島市の二つの特定非営利活動法人（NPO法人）が、ソフトウエア開発、マクロソフト（MS）、日本法人の多様団体に決まった。全国約三百の広縁団体から選ばれた七件のうち、一件が県内のグループ。約三百戸内の助成金も技術的な支援を受け、情報技術（IT）を活用して活動の幅を広げる。（小川善之



独自で調べた情報のデータベース化について話し合う雁木組メンバー

## 広島神楽芸術研究所

# ポータルサイトづくり

雁木組は、江戸期の河川研究によると広島、鳥根川輸送拠点だった階段状の雁木の難管理情報を公開する。雁木はテリタ地、拠点や内資、上流計画を管に約三百戸あり、位掲載。基本項目には英画や、潮の干満で難管理できる時間が変わる。独自情報をデータベース化し、日時と場所を指定すれば、雁タクシーの船が管理できるかどうかが検索できるようになる。

システムは五月にも試験的に稼働させる予定。利用者が増が見込めるため、船長ら新メンバーも募る。本業のIT業を生かして取り組む、メンバーの赤利安さん（右）は「最終的には、シジミ漁や水生動物の観察など市民が川に親しむ際、役立つ河川情報の発信も広げたい」と語る。

神楽芸術研究所は、石見神楽のポータル（玄関ロ）サイトを設ける。研究開始。増田恵二事務

# IT化2団体をMS支援

「管理者指定」など86議案可決し閉会  
広島市議会臨時会  
広島市議会は21日、本会議を開き、指定管理者を公称していた市の二百十八施設の管理者指

局長（右）は「これまで『点』だった各団体の活動を『面』に広げ、中国山地の観光資源・石見神楽を内外に一体的にPRしたい」と意気込む。